

県博デー公開講座（歴史文化講演会）

「舶来品の文化史—光源氏から徳川家康まで」

宇都宮短期大学

毎月第3日曜日は県博デーとして、県立博物館ではさまざまな催し物が開催されています。12月の県博デーにあわせて、宇都宮短期大学では公開講座（歴史文化講演会）を企画いたしました。ぜひお気軽にご参加いただければ幸いです。

1. 日時・場所 12月 21日（日）

午後2時～3時30分

栃木県立博物館講堂 宇都宮市睦町2-2



2. テーマ 「舶来品の文化史—光源氏から徳川家康まで」

なぜ日本人は舶来品を愛するのでしょうか？ 艶やかな織物や毛皮、香料、楽器、書、薬、さらには茶や茶器、珍獣…正倉院宝物から江戸の阿蘭陀物まで、わが国の文化は古来、異国からの舶来品、すなわち「唐物」を受け入れ吸収することで発展してきました。聖武天皇、そして光源氏から信長・秀吉・家康まで、各時代のキーパーソンとの関係を軸に、唐物というモノを通じて日本文化の変遷を追ってみましょう。

こうした舶来品の複製品にも実際に触れていただき、魅力あふれる世界にご案内いたします。

3. 講師

東京学芸大学教育学部教授・東京大学大学院客員教授 河添房江



【略 歴】東京大学文学部国文学科卒。博士(文学・東京大学)。
一橋大学大学院連携教授、成蹊大学文学部・放送大学等の非常勤講師、
朝日カルチャー新宿講師、NHK 文化センター青山講師、NHK 教育テレビ「古
典への招待（源氏物語）」講師なども務める。

【主な著書】『唐物の文化史—舶来品から見た日本』(岩波新書)、『源氏物語と東アジア世界』(NHK
ブックス)、『光源氏が愛した王朝ブランド品』(角川選書)、『源氏物語時空論』(東京大
学出版会)、『性と文化の源氏物語』(筑摩書房)、『週刊朝日百科 世界の文学—竹取物
語・伊勢物語』(編著、朝日新聞社)、『源氏物語いま語り』(共編、翰林書房)など。

聞き手：栃木県立博物館 学芸部長 江田 郁夫

4. 主催 宇都宮短期大学 共催 栃木県立博物館

5. お申し込み 12月12日までに宇都宮短期大学法人本部 (FAX 028-635-3540) あて
FAXをお願いいたします。(入場無料、定員になり次第締め切ります。)

..... F A X 送 信 票

県博デー宇都宮短期大学公開講座（12月21日）参加申込書

FAX 028-635-3540

ご芳名：

ご参加人数

名

（ご連絡先の電話番号又はFAX番号をお書きください）